




中学校理科教科書「理科の世界」訂正表

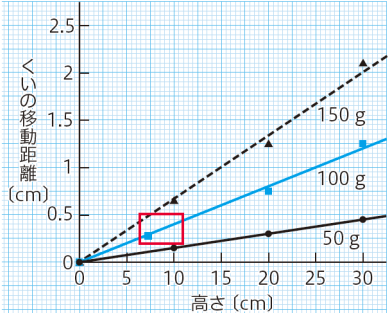
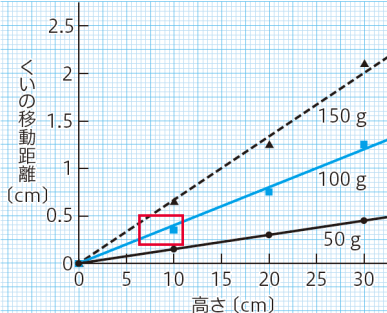


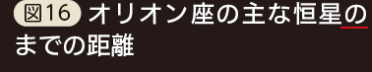
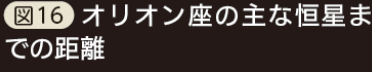
※訂正のお知らせは、弊社ウェブサイトでもご確認いただけます。



< 1年 >

修正箇所	原文	修正文	理由
p. 69 左段 31行目 単元末問題 8	次の①～⑤にあてはまる脊椎動物のグループを、	次の①～④にあてはまる脊椎動物のグループを、	誤記
p. 228 左段 15行目	1世紀ごろに…	2世紀ごろに…	発明の年代が西暦132年であるため
p. 240 結果からわかること	…海底であったと考えられる。	…海底であったと <u>考</u> えられる。	脱字
p. 244 Science Press	<p>ある時代の^{とくちよう}特徴的な^{かんきよう}環境や^{はんえい}繁栄した生物による時代区分を、地質年代という。地質年代の中で、日本の地名に由来する時代が「チバニアン」(77万年前～12.6万年前)である。</p> <p>コンパスのN極の磁針が北を向くのは地球が大きな磁石になっているためである。このコンパスの磁針と同様に、水の中でゆっくりと砂や泥が^{たいせき}堆積する際に、磁石の性質をもった鉱物の結晶は一定の方向にそろって並ぶ。このため、堆積物を調べるとそれが堆積した時代の地球のN極とS極の方向を知ることができる。</p> <p>実は、地球のN極とS極の方向は一定ではなく、過去360万年間にN極とS極が11回も入れかわっており、77万年前に最後の反転が起きて地球のN極とS極が現在と同じ向きになった。千葉県市原市の養老川沿いにある堆積物の地層は堆積速度が速く、この77万年前のN極とS極の反転をはっきりと^{くわん}観察することができる。このことから、77万年前～12.6万年前の地質年代を、この地層のある「千葉」の地名をとって「チバニアン」とよぶことが2020年に、国際機関によって決定された。</p>	<p>ある時代の^{とくちよう}特徴的な^{かんきよう}環境や^{はんえい}繁栄した生物による時代区分を、地質年代という。地質年代の中で、日本の地名に由来する時代が「チバニアン」(77.4万年前～12.9万年前)である。</p> <p>コンパスのN極の磁針が北を向くのは地球が大きな磁石になっているためである。このコンパスの磁針と同様に、水の中でゆっくりと砂や泥が^{たいせき}堆積する際に、磁石の性質をもった鉱物の結晶は一定の方向にそろって並ぶ。このため、堆積物を調べるとそれが堆積した時代の地球のN極とS極の方向を知ることができる。</p> <p>実は、地球のN極とS極の方向は一定ではなく、過去360万年間にN極とS極が11回も入れかわっており、<u>約</u>77万年前に最後の反転が起きて地球のN極とS極が現在と同じ向きになった。千葉県市原市の養老川沿いにある堆積物の地層は堆積速度が速く、この<u>約</u>77万年前のN極とS極の反転をはっきりと^{くわん}観察することができる。このことから、<u>77.4</u>万年前～12.9万年前の地質年代を、この地層のある「千葉」の地名をとって「チバニアン」とよぶことが2020年に、国際機関によって決定された。</p>	チバニアンについて、国際地質科学連合(IUGS)による決定に合わせて変更
p. 276 右段上	2 ②入水管と出水管の近くに、…	2 ②入水管と出水管の近くに、…	誤植
p. 287 左段 46行目	4①a：平行脈，葉脈が <u>並</u> 行になっている。	4①a：平行脈，葉脈が <u>平</u> 行になっている。	誤植
p. 292 中段⑤	<u>カマイルカ</u>	<u>バンドウイルカ</u>	誤記

修正箇所	原文	修正文	理由
<p>p. 51 上右 手順3</p>	 <p>注意 試験管が冷めてから、性質を調べる。</p> <p>削除</p> <p>③加熱前の混合物と加熱後の物質を少量とって、水に入れる。</p> <p>④加熱前の混合物と加熱後の物質をペトリ皿に少量とり、点眼瓶でうすい塩酸を2～3滴加える。</p> <p> 加熱後の物質の量は、ほんの少しでよい。とり出しにくいときは、太い針金などでくずす。</p> <p>⑤発生する気体のにおいを調べる。</p>	 <p>注意 試験管が冷めてから、性質を調べる。</p> <p>③加熱前の混合物と加熱後の物質をペトリ皿に少量とり、点眼瓶でうすい塩酸を2～3滴加える。</p> <p> 加熱後の物質の量は、ほんの少しでよい。とり出しにくいときは、太い針金などでくずす。</p> <p>④発生する気体のにおいを調べる。</p>	<p>安全上の観点から、水ではなく塩酸中に試料を入れるなどの誤操作を防ぐため、また、実験の所要時間を短縮するため、手順③を削除</p>
<p>p. 228 左段 6-7行目</p>	<p>豆電球が全て同じ<u>明るさ</u>のものとして、</p>	<p>豆電球が全て同じ<u>種類</u>のものとして、</p>	<p>p.222 の 8 行目に合わせて表現を変更</p>
<p>p. 251 1行目, 側注</p> <p>p. 251 9行目, 側注</p>	<p>を<u>気圧(大気圧)</u>^{★1}と ★1: 一般に空気以外の気体に</p> <p>使われていた^{★3}ことがある。 ★3: mmHgにかわり</p>	<p>を<u>気圧(大気圧)</u>^{★3}と ★3: 一般に空気以外の気体に</p> <p>使われていた^{★4}ことがある。 ★4: mmHgにかわり</p>	<p>側注の番号が見開きで連番になるように変更</p>
<p>p. 311 右段 45行目</p>	<p>②急ブレーキという刺激を目(感覚器官)で受け、<u>感覚神経に伝わり、脊髄を</u>通って脳に伝わり、脊髄を<u>通って</u>運動神経を通じてあしに伝わり、ブレーキを踏んだ。</p>	<p>②急ブレーキという刺激を目(感覚器官)で受け、<u>刺激が信号に変えられ、感覚神経を</u>通って脳に<u>伝わった</u>。さらに、<u>その信号は脊髄を</u>通って運動神経を通じてあしに伝わり、ブレーキを踏んだ。</p>	<p>目で受けた刺激は、脊髄を通らず脳に伝わるため</p>

修正箇所	原文	修正文	理由
p. 60 図 14			誤記
p. 112 結果からわかること	<p>AaとAaは丸い形質，aaはしわの形質が現れている<u>ので</u>，子Aaを掛け合わせるとき，孫の代の種子では，丸い種子としわのある種子がほぼ3：1の比で現れる。</p>	<p>AAとAaは丸い形質，aaはしわの形質が現れている<u>。</u>子Aaを掛け合わせるとき，孫の代の種子では，丸い種子としわのある種子がほぼ3：1の比で現れる。</p>	より正確な表現への変更
p. 112 10行目	Aaの組み合わせの個体は，	<u>AA</u> やAaの組み合わせの個体は，	
p. 144 図 4	<p>ハネカクシの幼虫</p> 	<p>ハネカクシ</p> 	誤記
p. 268 図 16	<p>図16 オリオン座の主な恒星までの距離</p> 	<p>図16 オリオン座の主な恒星までの距離</p> 	誤植
p. 329 下段右	中央リニア新幹線	リニア中央新幹線	誤植
p. 362 中段	<p>湯川秀樹 (1939)</p>	<p>湯川秀樹 (1949)</p>	誤植
p. 364 中段 29行目	<p>⑤図1，(例)図1の方が，aにあるときの位置エネルギーが図2より大きく，cでの運動エネルギーも大きいため。</p>	<p>⑤図1，(例)図1の方が，aにあるときの位置エネルギーが図3より大きく，cでの運動エネルギーも大きいため。</p>	誤植